



HPV「キャッチアップ接種」

2025年3月まで

平成9～19年度生まれの女性対象

SAVE ♥ WOMB

10/1以降は(最大)10万円、
マジで自腹になっちゃうよ!

子宮頸がん予防ワクチンで、いのちと女の子の未来を守れ。

1997-2007年度生まれの女の子は

今だけ
無料

子宮頸がん予防接種 (HPVワクチン) キャッチアップ世代を対象とした 日曜接種&夜間接種事業開始

開始時刻から15単位でご予約出来ます(^^♪

2024年 8月 4日(日) 午前9時(定員に達しました)

8月18日(日) 午前9時(定員に達しました)

8月25日(日) 午後5時(夜間接種☆≡)

8月28日(水) 午後7時(平日夜☆≡少数枠)

9月は「無料3回接種」の最終スタート月♪

9月 1日(日) 午前9時

9月 8日(日) 午後5時(夜間接種☆≡)

10月 6日(日) 午前9時

10月20日(日) 午前9時

11月10日(日) 午前9時

11月17日(日) 午後5時(夜間接種☆≡)

9月からの平日夜間接種、さらに12月、1月も現在調整中☆≡

2025年 2月 9日(日) 午前9時

2月23日(日) 午前9時

3月23日(日) 午前9時

3月30日(日) 午前9時

利用方法 「キャッチアップ世代を対象とした日曜接種予約」専用サイト
よりご予約ください。

<https://select-type.com/s/?s=H4KXSyq4v6l>

2次元バーコード



接種会場 世田谷区医師会館

(うめとぴあ 世田谷区保健福祉総合プラザ4階)

世田谷区松原6-37-10-4F

「接種券」を探そう。

接種券が入ったお知らせが世田谷区から送られています。

えっ！見つからない？でも大丈夫。

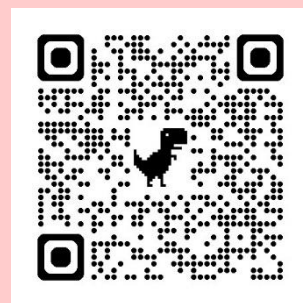
ワクチンを打っていない人を対象に世田谷区から接種券お取り寄せの
お知らせ郵便(7月15日発送)が届いているはず！！

その郵便が見つからない！！

けど大丈夫。接種券お取り寄せサイトから取り寄せ可能♪

接種券お取り寄せサイト ⇒⇒⇒

(東京共同電子申請・届出サービス)



子宮頸がん・・・いったいどんな病気なの。

原因はHPV感染。生涯で子宮頸がんになる人は76人に1人の確率。その
うち300人に1人が亡くなる。出産の平均年齢までに子宮を失う女子は毎年
1,000人。

HPVワクチンの効果は？

子宮頸がんの予防効果は9割以上。

危なくないの？

過去に副作用と思われていた痛みや運動機能の障害などの多様な症状とHPVワクチンの因果関係を証明したものはありません。接種しなかった人にも同じ症状が同じ割合であったことがわかっています。このような症状には、専門医療機関が連携して治しますので安心してください。

今だけ無料！

自腹で接種すると約10万円かかります。

2024年9月30日までに1回目を接種しましょう。このチャンスを逃すと自腹です。

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）について、平成25(2013)年から令和3(2021)年の期間、個別にお勧めする取組が差し控えられていたために、定期接種の対象であった方々の中には、HPVワクチンの公費での接種機会を逃した方が多数いらっしゃいます。

こうした方に、公平な接種機会を確保する観点から、定期接種の対象年齢（小学校6年から高校1年相当）を超えて、あらためて公費での接種の機会（キャッチアップ期間）が提供されています。

しかし、キャッチアップ世代あたりの方（現在、17歳～27歳）は、勤労者の方も多く、平日等に接種を受けることが困難となっております。

また国のキャッチアップ（救済策）も2025年3月31日までと期限が迫っており、2022年4月より3年間（来年3月末終了予定）に渡り、キャッチアップとして接種期間（機会）を拡大していましたが、接種は合計3回で完了するまで約6ヶ月間かかるため、9月末までに最低でも1回目を開始しないと回数全てを自己負担で完了出来なくなる可能性もございます。

このようなことから世田谷区医師会では、子宮頸がん撲滅活動の一環として「キャッチアップ世代を対象とした日曜接種事業」を実施いたします。

「世田谷区医師会館」（うめとぴあ4階世田谷区立保健福祉総合プラザ）で実施します。

曜日等の理由で接種機会を逃されている方等いらっしゃいましたらご活用ください。

対象者：接種日時時点で世田谷区に住民票があり、平成9年度から平成19年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日）の女性で、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方。

問診票を自身でご準備（世田谷区よりお取り寄せ）いただく必要がございます。

利用方法 接種希望者ご自身で世田谷区医師会ホームページ内にごございます「キャッチアップ世代を対象とした日曜接種予約」専用サイトよりご予約ください。

<https://select-type.com/s/?s=H4KXSyq4v6I>

2次元バーコード



費用負担 公費接種のため自己負担はございません。

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）に関する情報は

厚生労働省ホームページ「ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～」をご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html